

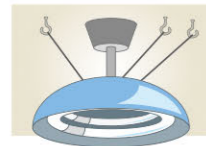
◆地震への備え

地震で建物が倒壊しなくても、家具の転倒やガラスの飛散等により、大きなケガをしたり逃げ場をふさがれたりします。事前に家具などの固定や配置方法の工夫を行い、屋内の安全性を高めておきましょう。



■収納に工夫を

- タンスや本棚などにもものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。



■照明器具の補強を

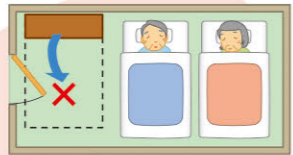
- 吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。



■置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置を工夫する必要があります。

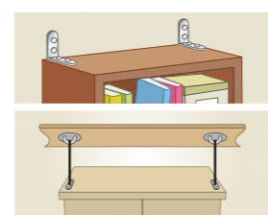
地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさがず位置に配置されていませんか？



■ガラスの飛散防止を

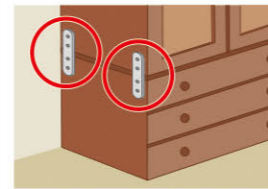
- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

■耐震金具を利用しよう



▶転倒防止金具

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

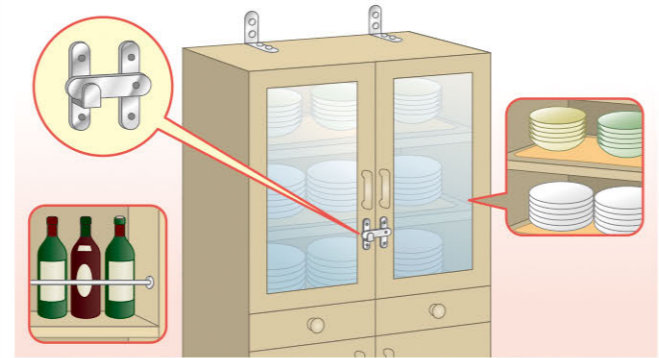


▶重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

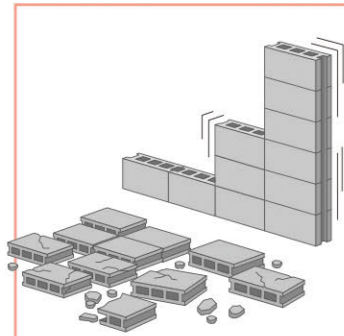
▶扉・引き出し開放防止金具

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。



◆屋外の安全対策

地震の揺れにより、ブロック塀などが崩れてケガをしたり、ガスボンベや貯湯タンク、エアコン室外機等が倒れるなどした場合に、火災やけがにつながる場合があります。事前に家の周りを点検し、屋外の安全性を高めておきましょう。



■壁・塀

- 壁や塀にひび割れなどがないか、腐ったりしていないか点検しましょう。
- ブロック塀は、地震の揺れにより崩れる可能性があるため、できれば安全な生垣などにしましょう。



■ガスボンベ・貯湯タンク・エアコン室外機等

- ガスボンベや貯湯タンク、エアコン室外機等は、動かないように壁等に固定しましょう。
- ガスボンベの周りには、物を置かないようにしましょう。

◆液状化現象

- 液状化現象とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しくゆらされると、土の粒子が水と混ざり合っ、一時的に液体のようにやわらかくなることをいいます。
- 液状化現象が発生すると、地面の沈下・陥没が発生して土地や建物が傾いたり、倒壊することがあります。

◆地震が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。また、旅行などで海岸付近にいた際に強い揺れを感じたときは、すぐに津波が来襲することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難してください。

1 地震発生! 地震の揺れから身を守る

- 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて自分の身を守る。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。



2 安全の確認 避難の準備・開始 揺れがおさまってから行動を

- 家族の安全を確認。
- 火の元を確認・初期消火。
- 足をケガしないように靴をはく。
- 津波のおそれがある場所にいる人は、揺れがおさまったらただちに避難する。
- 非常持ち出し品等を手元に用意する。
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。(復旧時の火災・事故を防ぐため)
- できる範囲で、地域の避難行動要支援者の手助けを行う。



3 情報の入手 情報の収集は安全な場所で行う

- 安全な場所に移動してから、防災無線やラジオなどで情報を確認する。
- 間違った情報や、うわさ、デマなどに惑わされないように注意する。
- 安全が確認されるまで、自宅には戻らない。



4 避難施設へ移動 一時的に避難した場所から、避難施設や自宅へ移動

- 安全の確認ができたなら、一時避難した場所から避難施設などに移動する。
- 避難施設では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ。
- 引き続き、災害情報・被害情報を収集する。



◆緊急地震速報を見聞きしたら…

「緊急地震速報」は、最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に報道機関や防災機関からみなさんに伝えられます。

この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



詳しくは...

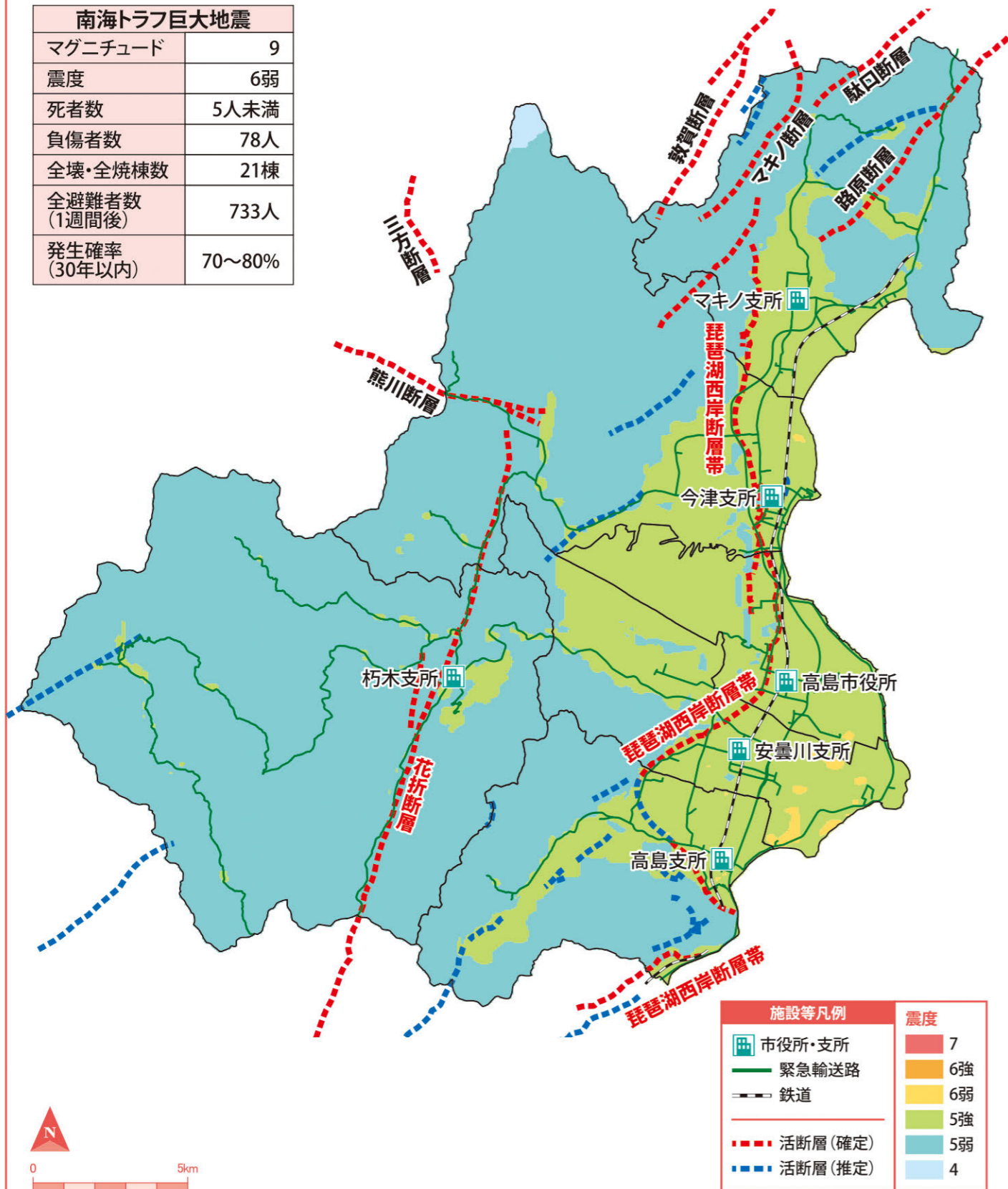
高島市における地震災害について

滋賀県防災情報マップ 検索

高島市にもっとも大きな被害が発生するとされているのは琵琶湖西岸断層帯地震で、最大震度は7と想定されています。また、30年以内に70%~80%の確率で発生するとされている南海トラフの巨大地震でも被害が発生すると想定されています。
 ※平成26年3月 滋賀県地震被害想定結果

南海トラフ巨大地震(震度)

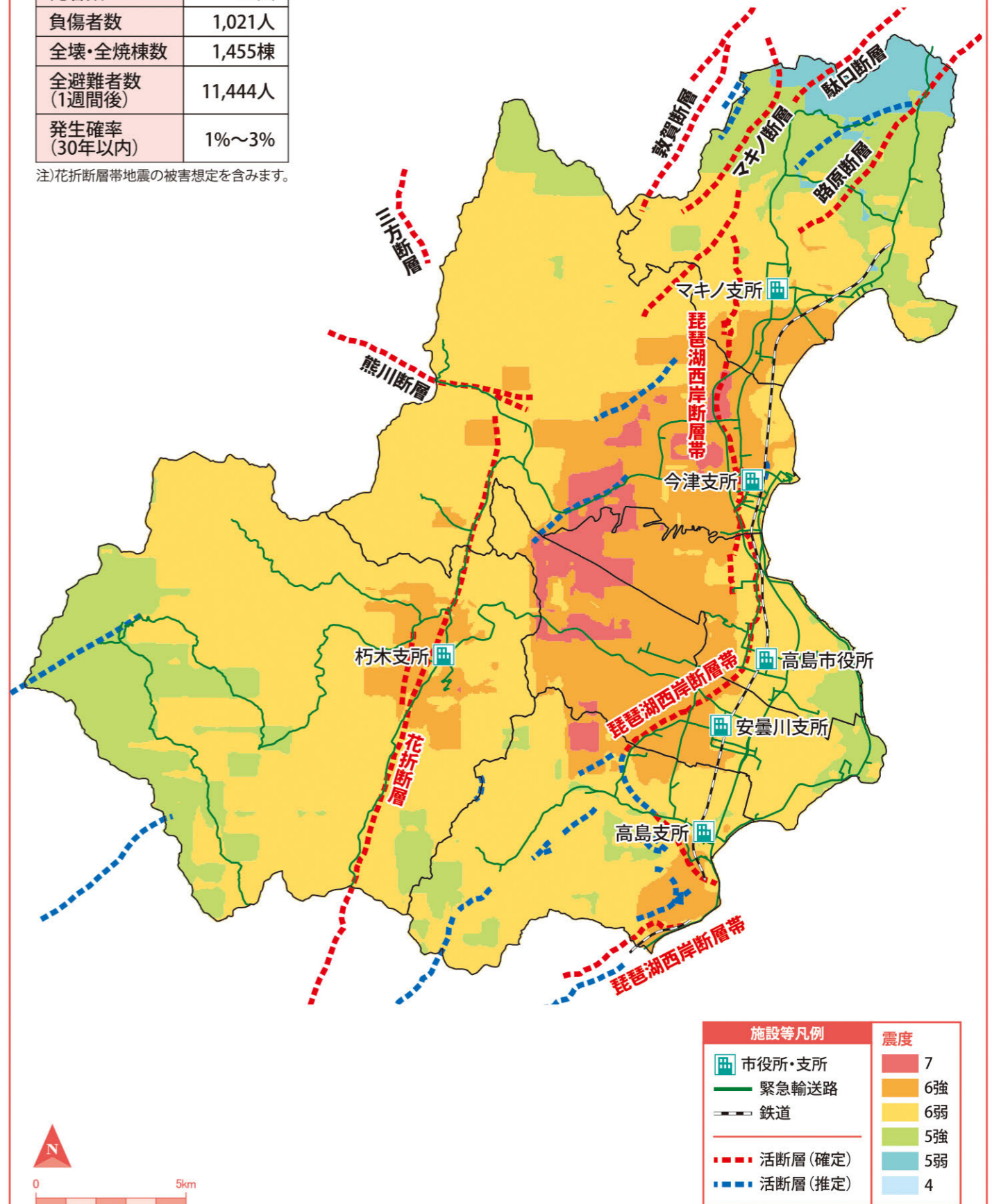
南海トラフ巨大地震	
マグニチュード	9
震度	6弱
死者数	5人未満
負傷者数	78人
全壊・全焼棟数	21棟
全避難者数(1週間後)	733人
発生確率(30年以内)	70~80%



琵琶湖西岸活断層帯地震(震度)


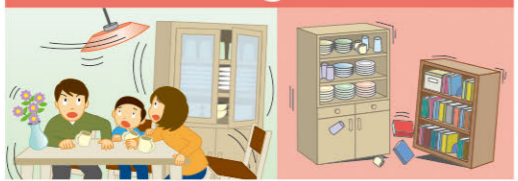
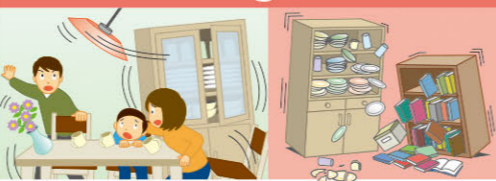
琵琶湖西岸断層帯地震	
マグニチュード	7.8
震度	7
死者数	88人
負傷者数	1,021人
全壊・全焼棟数	1,455棟
全避難者数(1週間後)	11,444人
発生確率(30年以内)	1%~3%

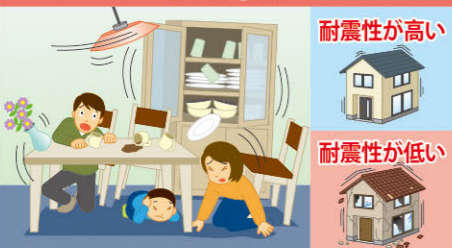

注)花折断層帯地震の被害想定を含みます。



◆ 震度と揺れの状況(震度階級表)

地震の揺れは、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。

<p>震度4</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が倒れる。 	<p>震度5弱</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なもの倒れることがある。 	<p>震度5強</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●物につかまらなさと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。
--	--	--

<p>震度6弱</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 	<p>震度6強</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 	<p>震度7</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに増える。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。
---	--	---

◆ 地震対策の補助事業

高島市では、以下に該当する個人を対象に以下の補助を行っています。(令和4年3月現在)

木造住宅耐震診断(無料)

診断の結果、倒壊する可能性が高いと判断された場合、ご希望により補強案および概算費用内訳書を無料で作成できます。

- 昭和56年5月31日以前に着工され、完成している建物
- 延べ面積の1/2以上の部分が住宅として使われているもの
- 階数が2階以下かつ延べ床面積300㎡以下のもの
- 枠組み壁工法、丸太組工および大臣認定工法ではないもの など

木造住宅耐震改修等事業費補助

木造住宅耐震改修事業補助などの制度をご希望の方は都市政策課までご相談ください。

- 左記の要件に該当し、耐震診断の結果、上部構造点が「0.7未満」と診断された木造住宅

※地震によって倒壊の危険性がある避難道路沿いのブロック塀の撤去費用に対する補助も実施しています。

感震ブレーカーの購入および設置に伴う費用補助(※)

感震ブレーカーの設置補助をご希望の方は、防災課までご相談ください。

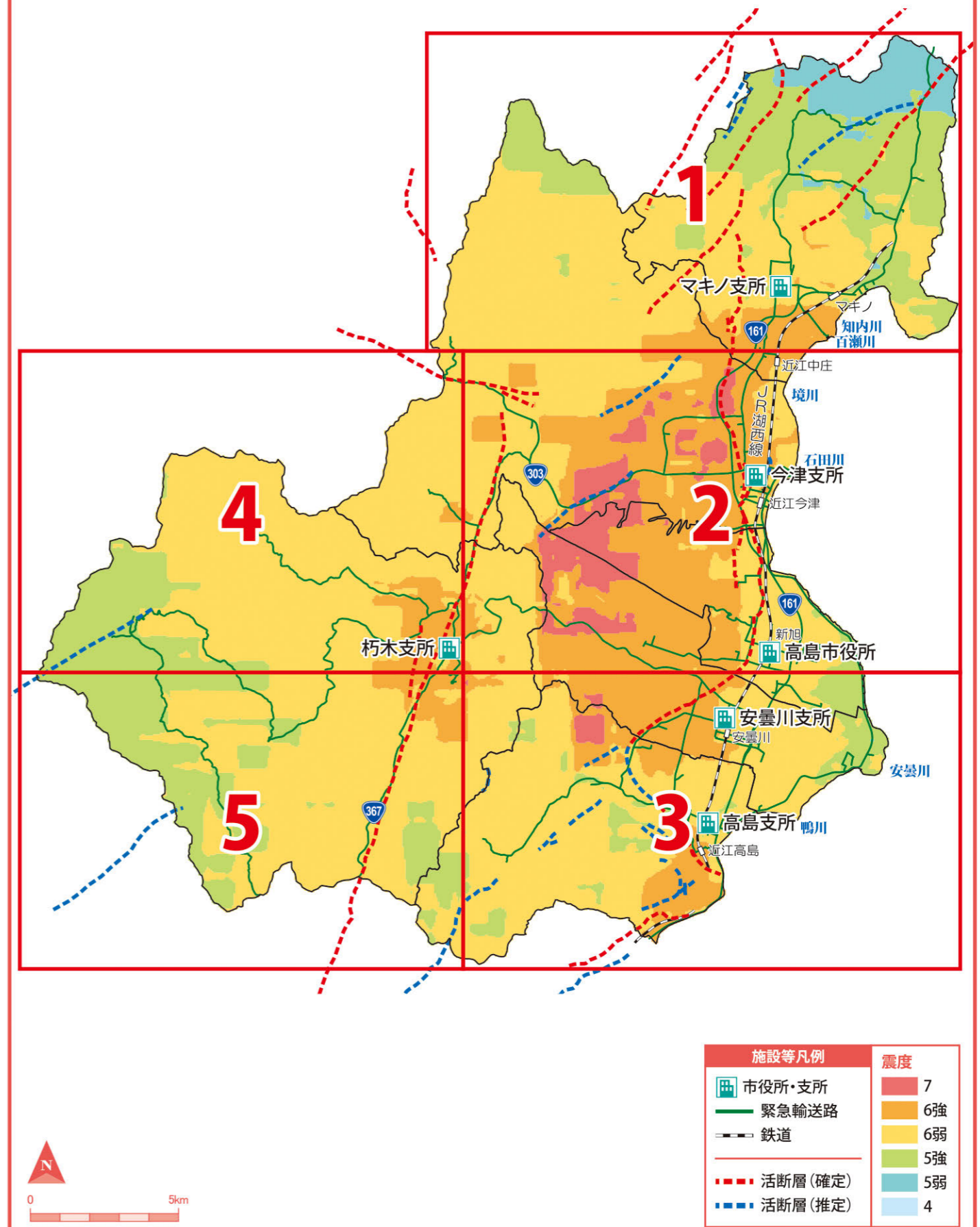
〈対象〉

- 分電盤タイプの感震ブレーカーを設置する場合
- 65歳以上の方だけの世帯
- 以下の手帳等の交付を受けている方がいる世帯
 - ▶要介護認定が2以上
 - ▶身体障害者手帳1級または2級
 - ▶精神障害者保健福祉手帳
 - ▶特定医療費(指定難病)受給者証
 - ▶小児慢性特定疾病医療受給者証 など

(※)新築する際に取り付けるものは対象外となります。

地震ハザードマップ・索引図

市内に最も大きな被害が発生すると想定される「琵琶湖西岸断層地震」における、市内各エリアの揺れやすさ等を表示しています。



施設等凡例		震度	
	市役所・支所		7
	緊急輸送路		6強
	鉄道		6弱
	活断層(確定)		5強
	活断層(推定)		5弱
			4

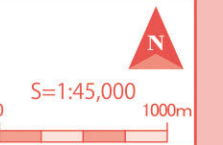
地震 ハザードマップ 1

- 広域避難所
- 市役所・支所
- 緊急輸送路
- 鉄道
- 活断層(確定)
- 活断層(推定)

- 震度
- 7
 - 6強
 - 6弱
 - 5強
 - 5弱

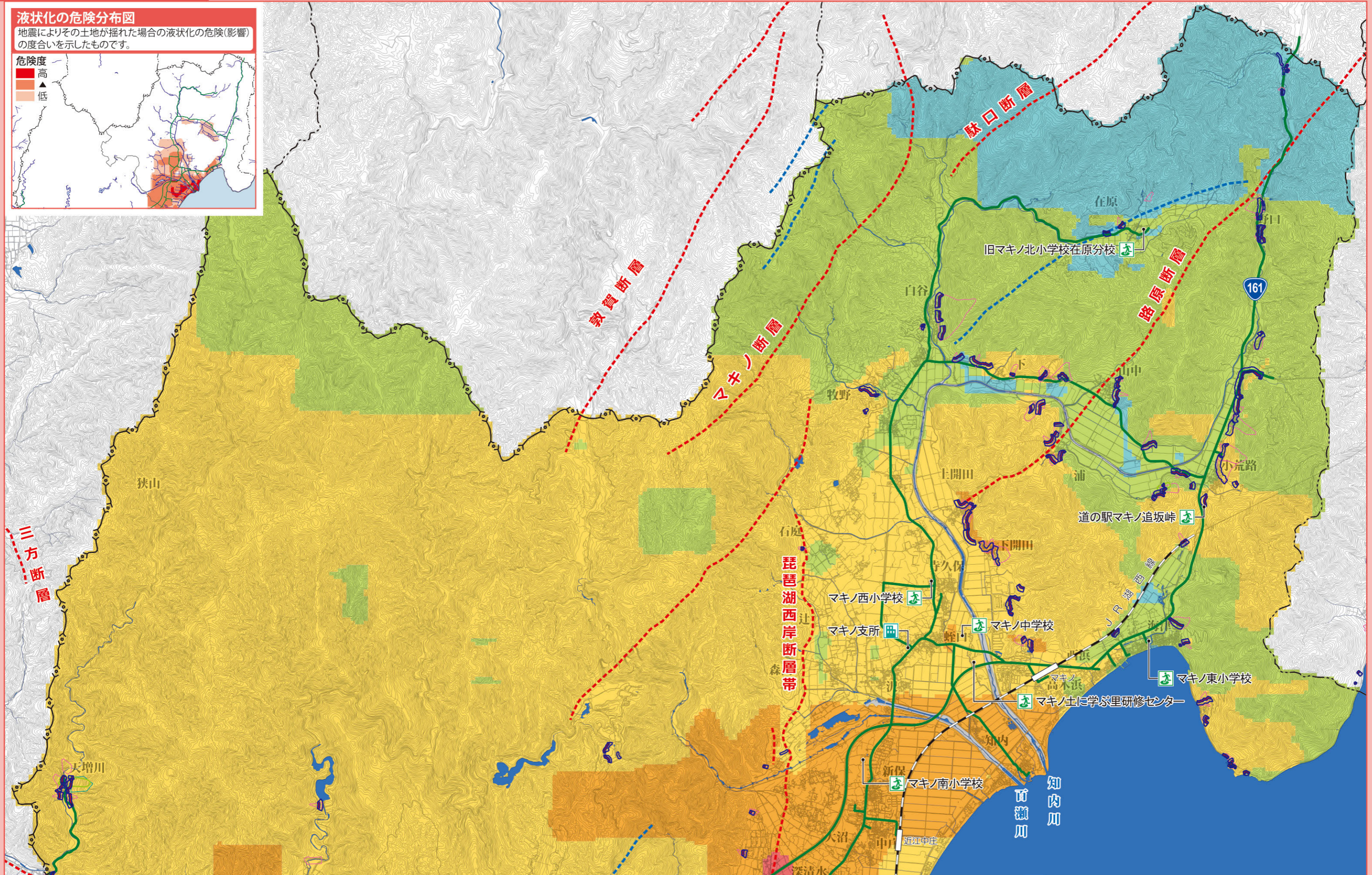
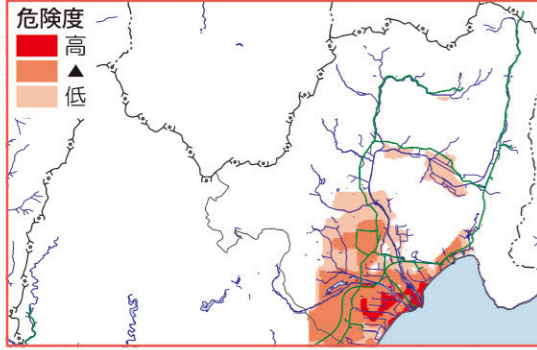
- 土砂災害(特別)警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
 - 特別警戒区域
 - 警戒区域
 - 地すべり
 - 警戒区域

- 危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 地すべり危険箇所



液状化の危険分布図

地震によりその土地が揺れた場合の液状化の危険(影響)の度合いを示したものです。

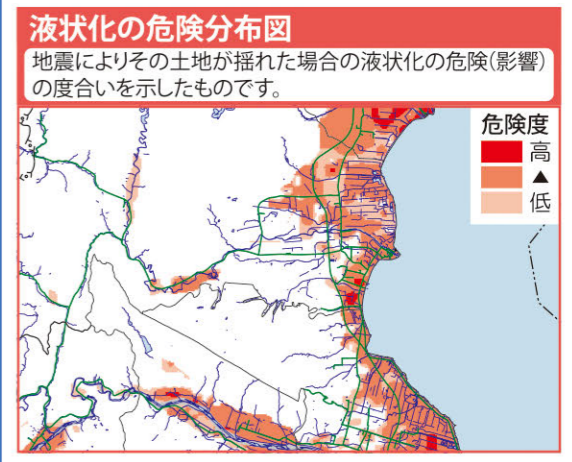
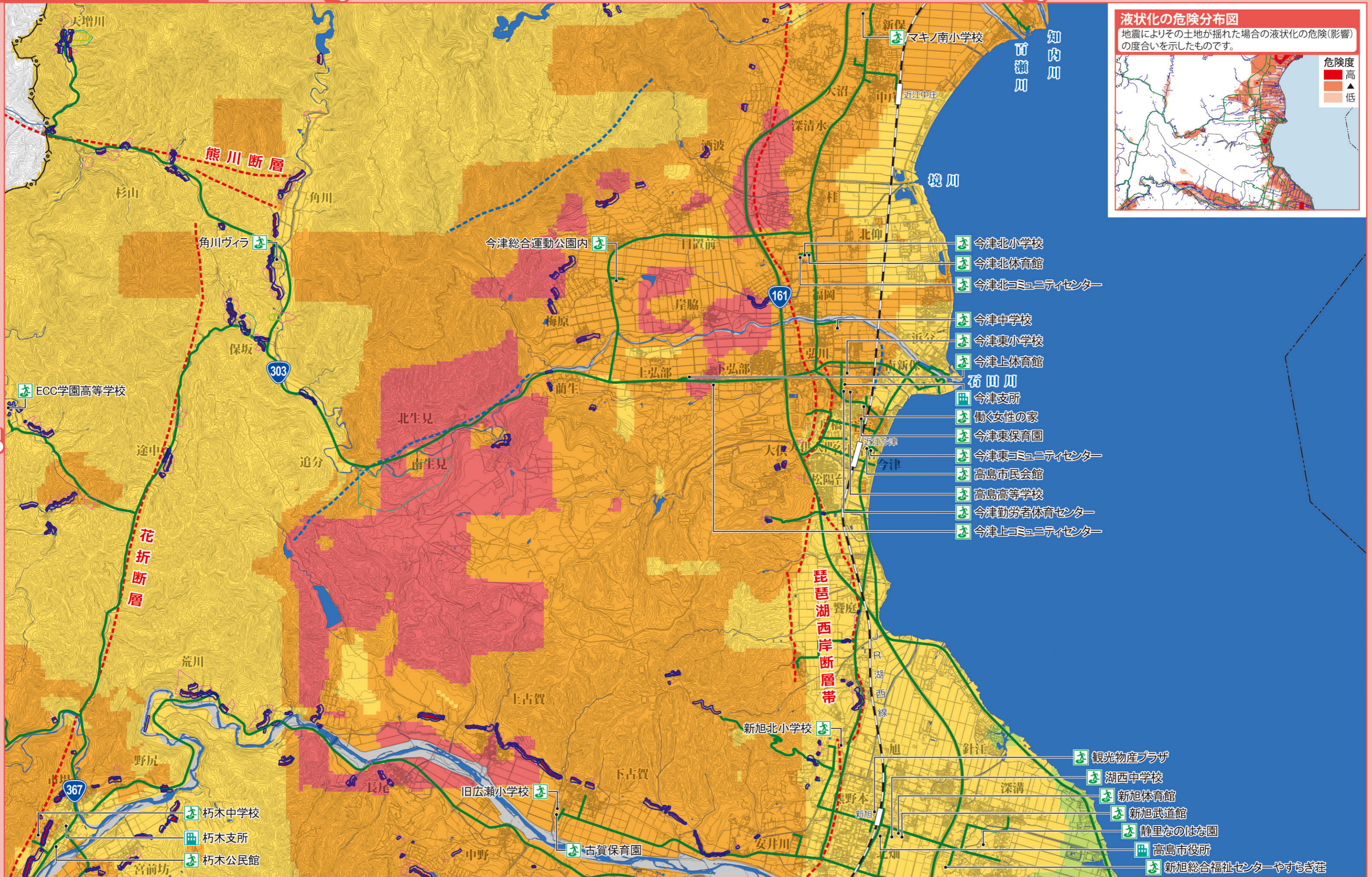
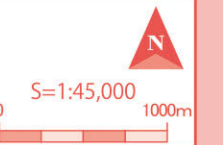


- 広域避難所
- 市役所・支所
- 緊急輸送路
- 鉄道
- 活断層(確定)
- 活断層(推定)

- 震度
- 7
 - 6強
 - 6弱
 - 5強
 - 5弱

- 土砂災害(特別)警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
 - 特別警戒区域
 - 警戒区域
 - 地すべり
 - 警戒区域

- 危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 地すべり危険箇所



4

1

1

3

3

71

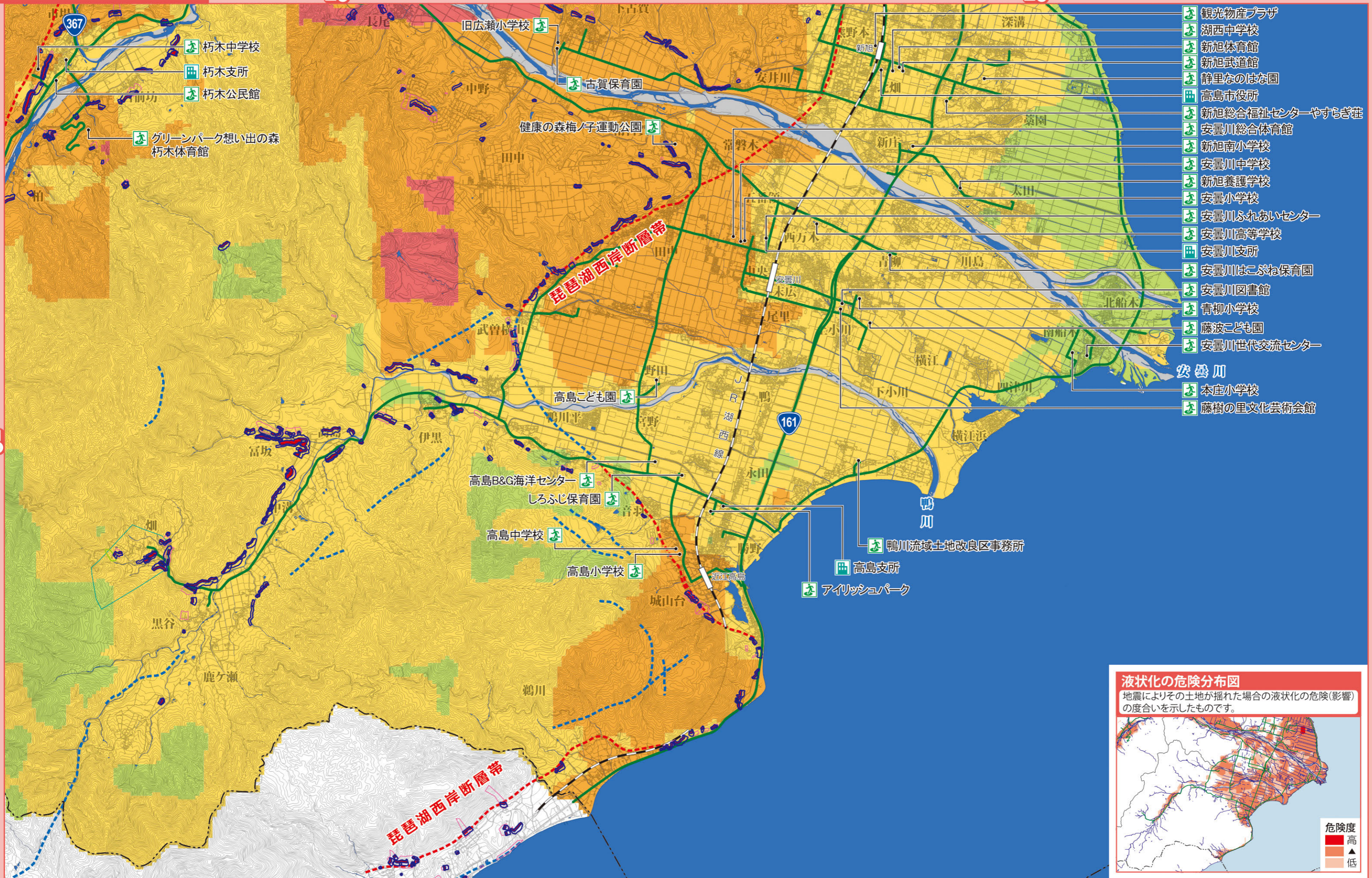
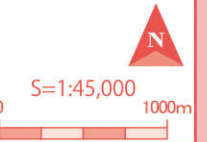
72

- 広域避難所
- 市役所・支所
- 緊急輸送路
- 鉄道
- 活断層(確定)
- 活断層(推定)

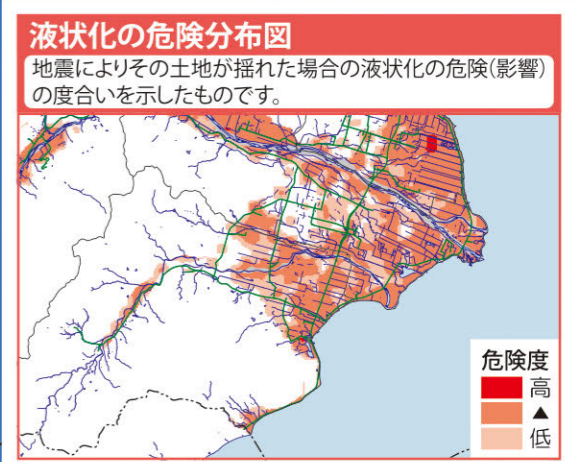
- 震度
- 7
 - 6強
 - 6弱
 - 5強
 - 5弱

- 土砂災害(特別)警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
 - 特別警戒区域
 - 警戒区域
 - 地すべり
 - 警戒区域

- 危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 地すべり危険箇所



- 観光物産プラザ
- 湖西中学校
- 新旭体育館
- 新旭武道館
- 静里なのはな園
- 高島市役所
- 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
- 安曇川総合体育館
- 新旭南小学校
- 安曇川中学校
- 新旭養護学校
- 安曇小学校
- 安曇川ふれあいセンター
- 安曇川高等学校
- 安曇川支所
- 安曇川はこぶね保育園
- 安曇川図書館
- 青柳小学校
- 藤波こども園
- 安曇川世代交流センター
- 安曇川
- 本庄小学校
- 藤樹の里文化芸術会館



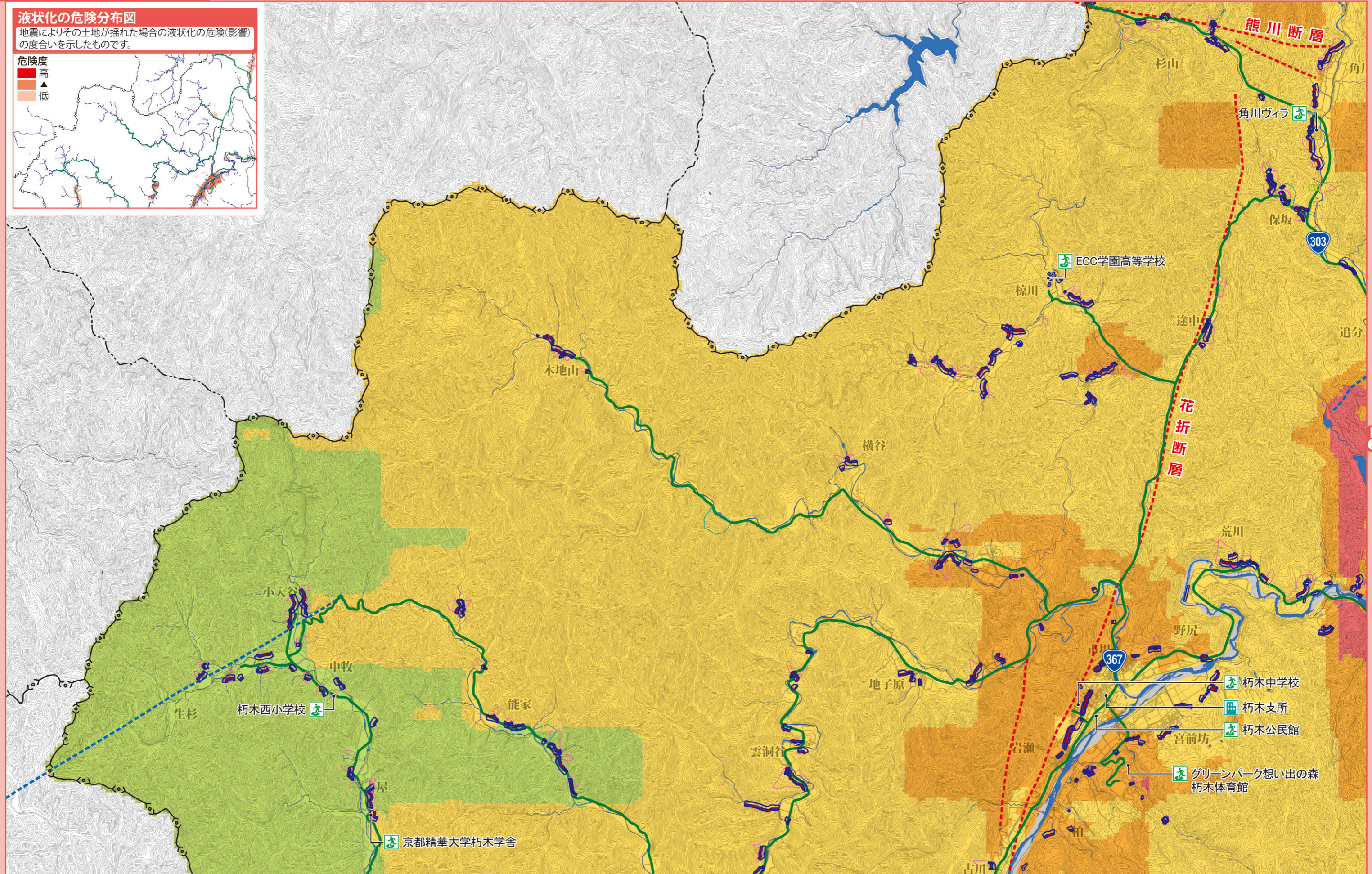
広域避難所	緊急輸送路	活断層(確定)	震度	5強	5弱	土砂災害(特別)警戒区域	危険箇所
市役所・支所	鉄道	活断層(推定)	7			急傾斜地の崩壊	急傾斜地崩壊危険箇所
			6強			特別警戒区域	地すべり危険箇所
			6弱			警戒区域	地すべり危険箇所

S=1:45,000
0 1000m

液状化の危険分布図

地震によりその土地が揺れた場合の液状化の危険(影響)の度合いを示したものです。

危険度
 高
 低

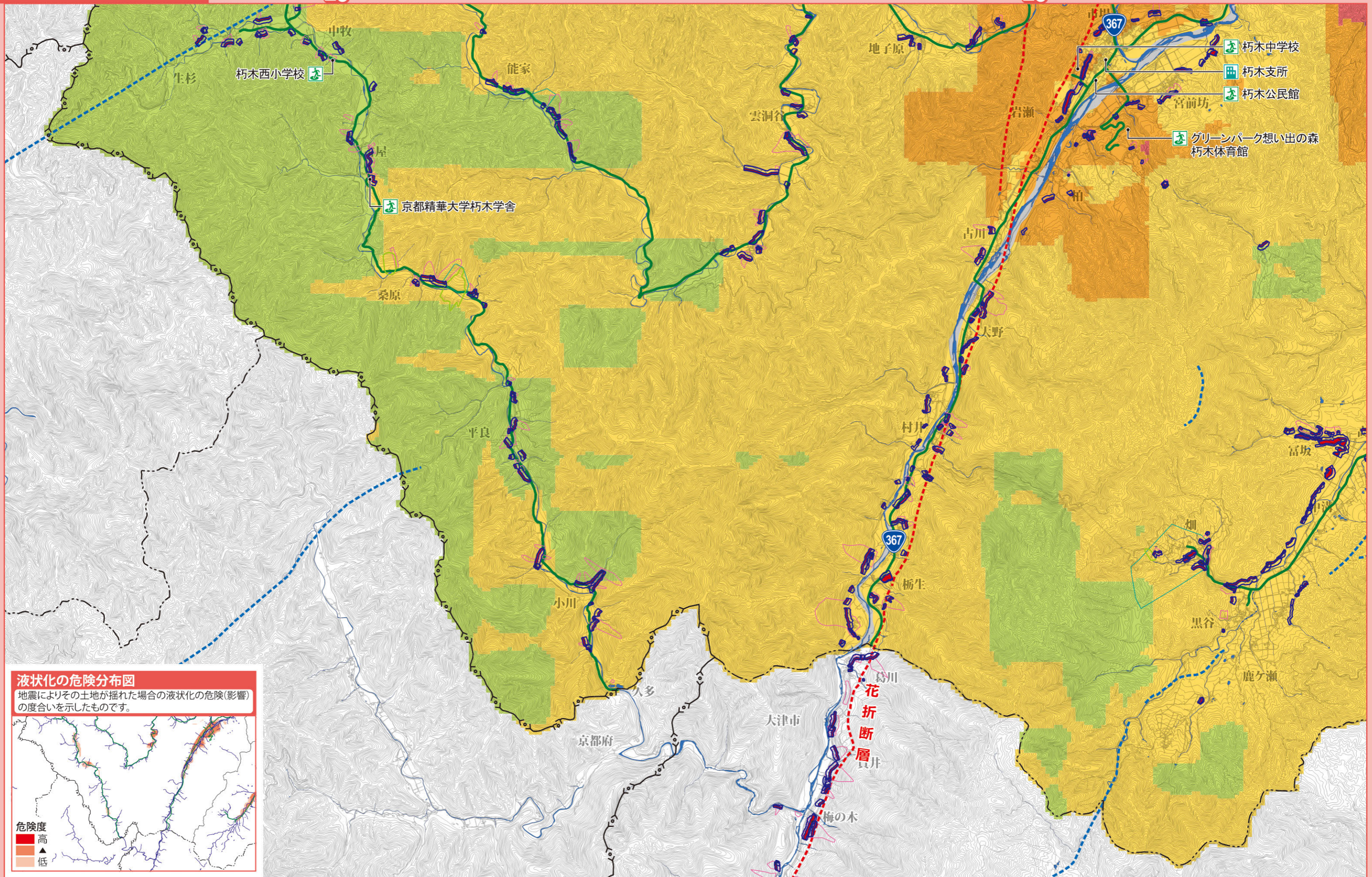
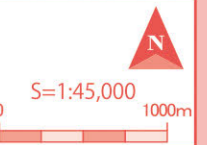


- 広域避難所
- 市役所・支所
- 緊急輸送路
- 鉄道
- 活断層(確定)
- 活断層(推定)

- 震度
- 7
 - 6強
 - 6弱
 - 5強
 - 5弱

- 土砂災害(特別)警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
 - 特別警戒区域
 - 警戒区域
 - 地すべり
 - 警戒区域

- 危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 地すべり危険箇所



液状化の危険分布図

地震によりその土地が揺れた場合の液状化の危険(影響)の度合いを示したものです。

